

定格表

■本体■

カタログ番号	型番	使用電圧	消費電力	色温度	演色性	質量
320X-223	68XL-06B4-Z0	AC100V	42.3W	2700K~6500K	Ra85	1.1 kg

■セード■

カタログ番号	型番	質量
329L1015W	04LK-05B6-ZW	1.9 kg

保守とお手入れ

△ 注意 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

お願い

- ◇器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら、柔らかい布で仕上げてください。
- ◇ぬれた手で器具に触らないでください。
- ◇使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
※付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。交換時は、2本とも新しい同じ種類のものを使用してください。長期間使わない時は、電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)
- ◇リモコンの送信部は定期的にお手入れを行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。



お読みになりましたら、この取扱説明書は、いつでも見られる所に、大切に保管してください。

アフターサービスのお問い合わせ



商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買い上げいただきました販売店・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、「部品名称」のイラストをご参照ください。

お客様相談窓口

ナビダイヤル  **0570-550-575**
(全国共通番号) 

受付時間(土日祝を除く) 10:00~17:00
中部地区・関西地区は各ショールームの営業日に準じます。

通話料はお客様のご負担となります
PHSからは接続できません

<http://www.yamagiwa.co.jp/>

取扱説明書

Cercle



このたびは、YAMAGIWAの照明器具をお買い上げくださり誠にありがとうございます。この説明書をよくごらんの上、正しく取り付け、正しくご使用ください。お読みになりましたら、この取扱説明書は大切に保管してください。

●電気工事は電気工事店(有資格者)におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

照明器具の取付(施工)についての安全上のご注意

【安全上のご注意】必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

◆お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

△ 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⊘ してはいけない内容です。

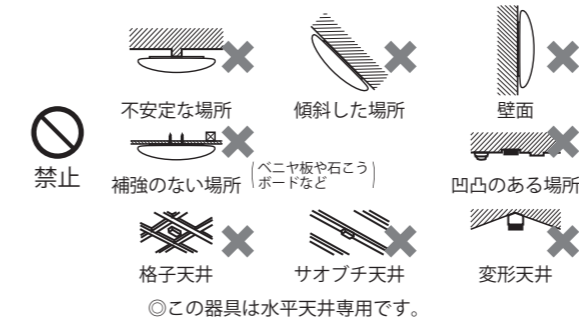
△ 注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

! 実行しなければならない内容です。

警告

■取付面

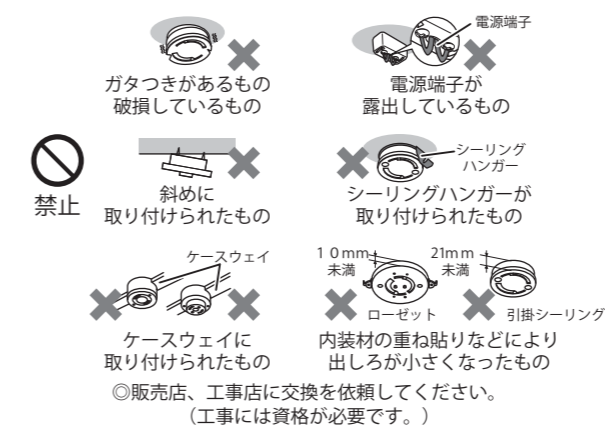
- 次のような場所には取り付けしないでください。火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



◎この器具は水平天井専用です。

■配線器具

- 次のような配線器具(ローゼット・引掛シーリング)には取り付けしないでください。火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。(工事には資格が必要です。)

■壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換してください。火災のおそれがあります。



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。(工事には資格が必要です。)

■その他

- 交流100ボルトで使用してください。過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。
- 異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。異常状態が収まったことを確認し、お客様相談室にご相談ください。
- アダプタは確実に取り付けてください。落下してけがのおそれがあります。
- 本体は確実に取り付けしてください。破損して感電のおそれがあります。
- 本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付けてください。破損して感電のおそれがあります。

分解禁止 ●器具を改造したり、部品交換をしないでください。火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

お願い

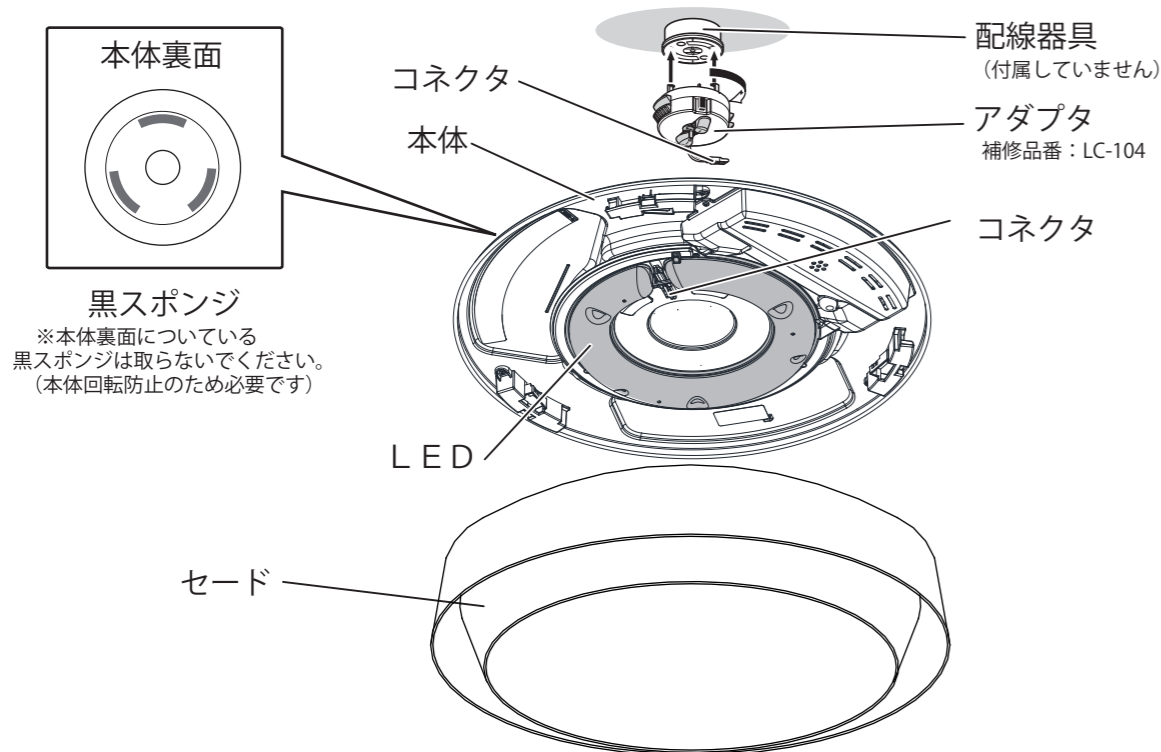
電気工事店様へ…工事が終わりましたら、この取扱説明書を、必ずお客様へお渡しください。

注意

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
 - カバーなどが破損した場合、けがの原因になることがありますので、破損部分に直接手や肌などを触れないでください。
◎破損した状態のまま使用すると感電、けがの原因になることがあります。
◎お手入れは電源を切り、本体やその周辺が冷めてから行ってください。
 - 点灯中や消灯直後は本体やその周辺にさわらないでください。
やけどの原因となることがあります。
◎お手入れは電源を切り、本体やその周辺が冷めてから行ってください。
 - 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。
火災、感電の原因となることがあります。
◎この器具は防湿、防雨型ではありません。
 - 温度の高くなるものを器具の真下に置かないでください。
火災の原因となることがあります。
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。
 - LEDを直視しないでください。
目の痛みの原因となることがあります。
- 必ず守る**
- 接触禁止**
- 水ぬれ禁止**
- 禁止**

【各部のなまえと付属部品】

取付ける前にまず付属部品をご確認ください



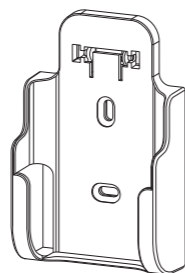
黒スポンジ
※本体裏面についている黒スポンジは取らないでください。(本体回転防止のため必要です)

リモコン
補修品番：TLR-004



※リモコン前面の保護シートは取りはずしてからご使用ください。

リモコンケース



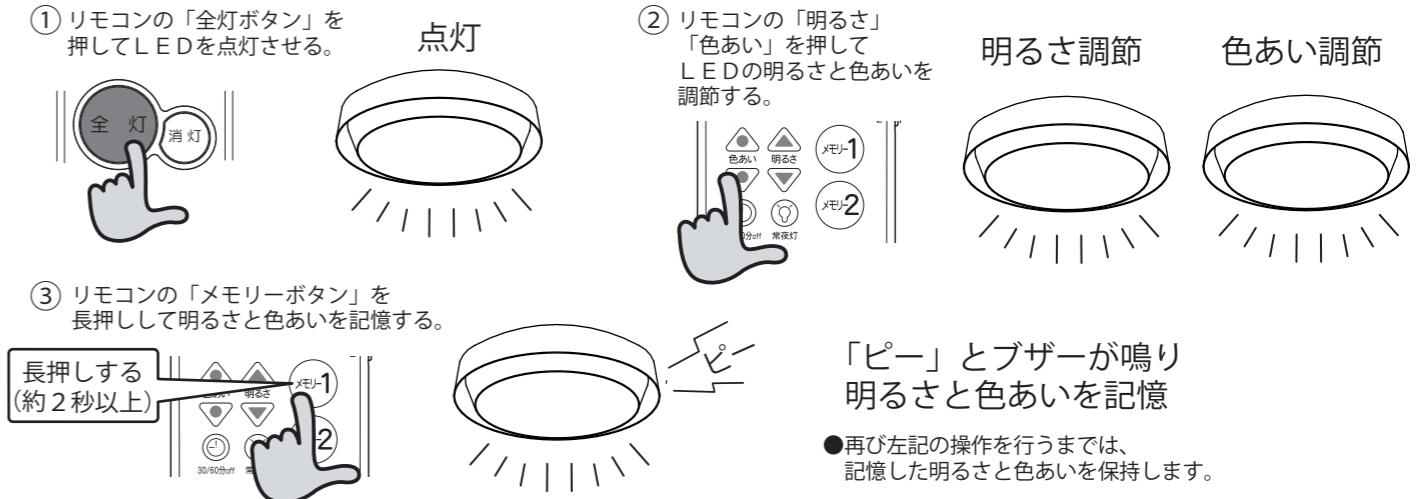
木ネジ
2個

単4形乾電池
2個

(前ページのつづき)

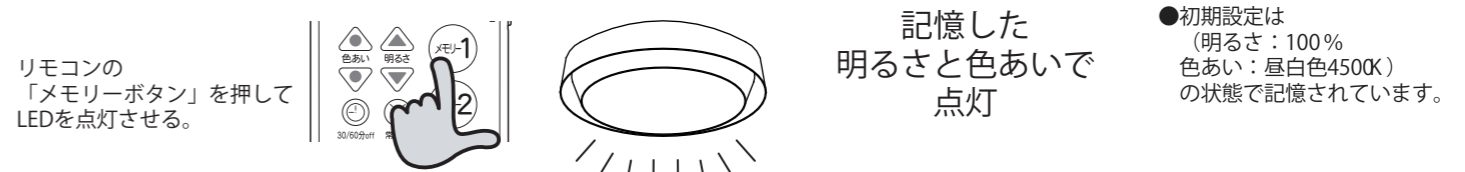
点灯状態を調節し記憶させる

LED点灯中に調光・調色操作を行ない、メモリー点灯ボタンを長押しすることによりその明るさ、色あいを記憶することができます。



記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯させる

記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯することができ、「お気に入りの点灯状態」としてご利用できます。



【リモコンの便利な使いかた】

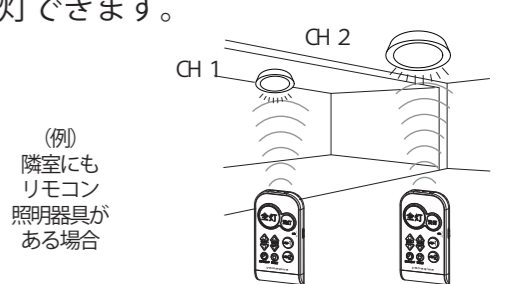
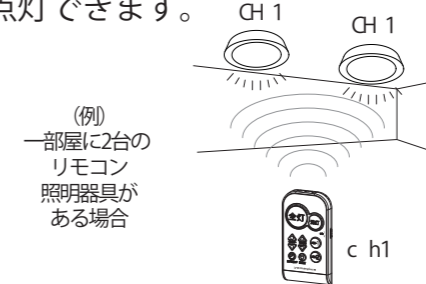
2台までのリモコン照明器具を操作する 照明器具のチャンネルを変更できます

チャンネル設定でできること

●複数の器具を同時に点灯できます。

●近くの器具を別々に点灯できます。

リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の本体が操作できます。また、リモコンで操作できない時は、チャンネル設定が合っていない場合があります。



チャンネルの変更方法

- ① 電源が入っている状態でリモコンの「全灯ボタン」を3秒以上押し続ける。
- ② 「ピーピーピー」とブザーが鳴り本体のチャンネルが変更される。(1だった場合は2へ、2だった場合は1へ)
- ③ リモコンの右側についているチャンネル切り替えスイッチから本体に合わせたチャンネルに変更する。

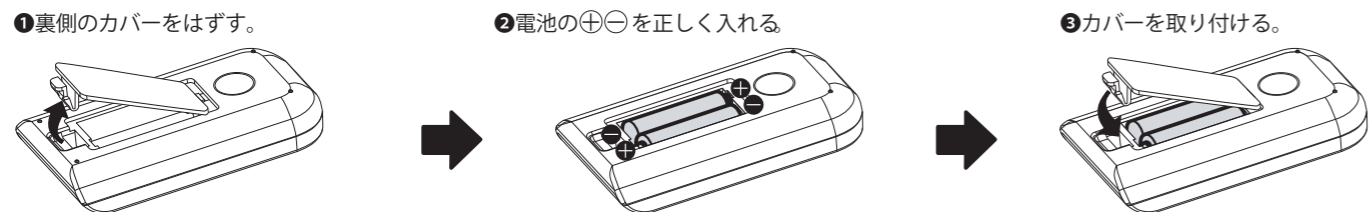


※チャンネルの初期設定は照明器具本体・リモコンともにチャンネル1に設定されています。

【リモコンについて】

リモコンで照明器具を操作する 壁スイッチは「入」の状態にしてください。

乾電池の入れかた



使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。※付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。交換時は、2本とも新しい同じ種類のものを使用してください。長期間使わないときは、電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)

リモコンケースの使いかた

壁などに取付ける場合



テーブルなどに置いて使用する場合



リモコンのボタンについて

消灯ボタン操作	点灯状態
1回押す	すぐに消灯
2回続けて押す	約30秒後に消灯

全灯ボタン
100%の明るさで点灯します。
●蓄光ボタンが太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

調色ボタン
色あいを調色します。
【調色範囲：明るさ：約50%
色あい：昼白色6500K～
明るさ：約50%
色あい：電球色2700Kまで】

offタイマーボタン
offタイマーをセットすると30分または60分後に自動消灯を行います。

常夜灯ボタン
常夜灯を点灯、明るさを調節します。
【調光範囲：明暗上下5段階】
⇒初期設定：最大の明るさ（5段階）
※常夜灯は調色できません。

消灯ボタン
消灯します。

チャンネル切替スイッチ
操作する照明器具のチャンネルを設定する場合に使用します。
⇒（7ページの2台までのリモコン照明器具を操作するを参照）

メモリー点灯ボタン
メモリー設定操作をした「明るさと色あい」で点灯します。ボタンを長押し（2秒以上）で点灯状態を記憶します。
⇒初期設定（明るさ：100% 色あい：昼白色4500K）
⇒（7ページのLEDの点灯状態を調光・調色し記憶させる、記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯させるを参照）

調光ボタン
明るさを調節します。
【調光範囲：100%～約10%まで】

押すごとに下記の動作を繰り返します

60分後消灯（「ピッピッ」と音がする） → 30分後消灯（「ピッピッ」と音がする）

タイマーの解除方法について

タイマー設定後、offタイマーボタン以外のボタンを押すと「ピッ」とブザー音が鳴ってタイマーは解除されます。必要場合は、改めてタイマー設定をおこなってください。

メモリー点灯ボタン操作	ブザー音	点灯状態
押す	ピッ	設定した状態で点灯
長押し（約2秒以上）	ビー	照明器具の点灯状態をメモリー設定

※K（ケルビン）とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

【照明器具を取り付ける】



安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。（一部姿図を省略しております。）

1 天井についている配線器具を確認する。 ※壁スイッチと併用をおすすめします。

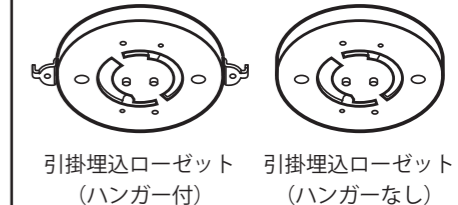
天井に下図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

！ 下記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合、取り付けできません。 ◎販売店、工事店に交換を依頼してください。（工事には資格が必要です。）

天井からの出しろが22mmの配線器具



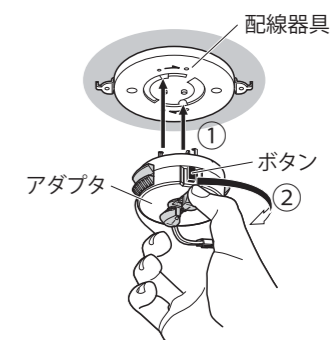
天井からの出しろが11mmの配線器具



2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける。

- ①位置を合わせる
- ②カチッと音がするまでアダプタを右に回して取付ける

確認 ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する

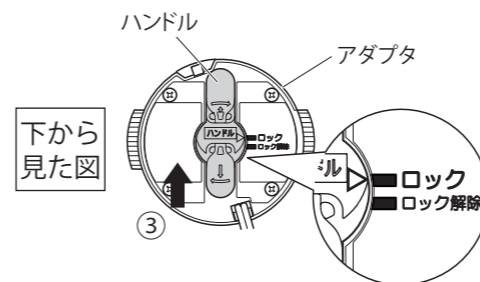


警告

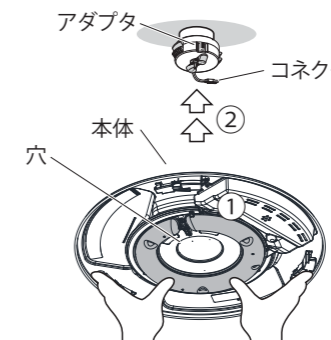
！ アダプタ、本体は確実に取り付ける。落下してけがのおそれがあります。

3 本体を取り付ける。

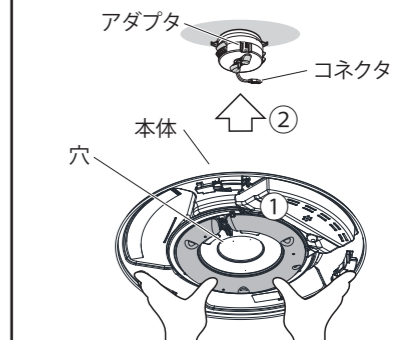
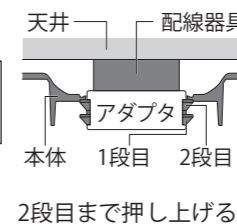
- ①本体中央の穴にコネクタを通す。
- ②本体をアダプタに合わせて押し上げる。
- ③アダプタのハンドルをロックする。



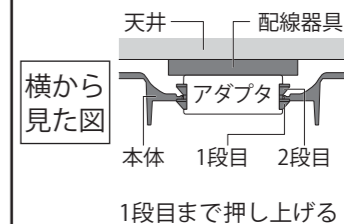
ハンドルをスライドさせて▲印をロックの位置に合わせる。



カチッと、カチッと2度、音がするまで押し上げる。

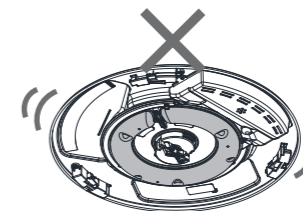


カチッと1度、音がするまで押し上げる。

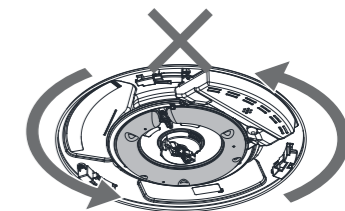


4 本体が正しく取付けられているか確認する。

確認 右図の場合、正しく取付けられていないので手順 3 を再度行ってください。



本体がグラグラする



本体が簡単に回転する

5 コネクタを接続する。

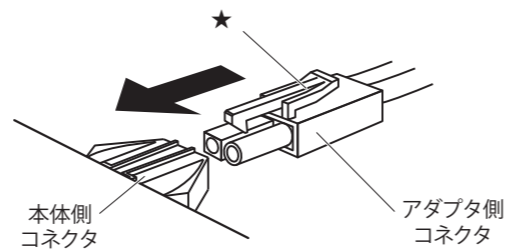
アダプタ側コネクタを
本体側コネクタに確実に
差し込む。

確認

★の部分を押さえずに引っ張って、
アダプタ側のコネクタが抜けない
ことを確認してください。

警告

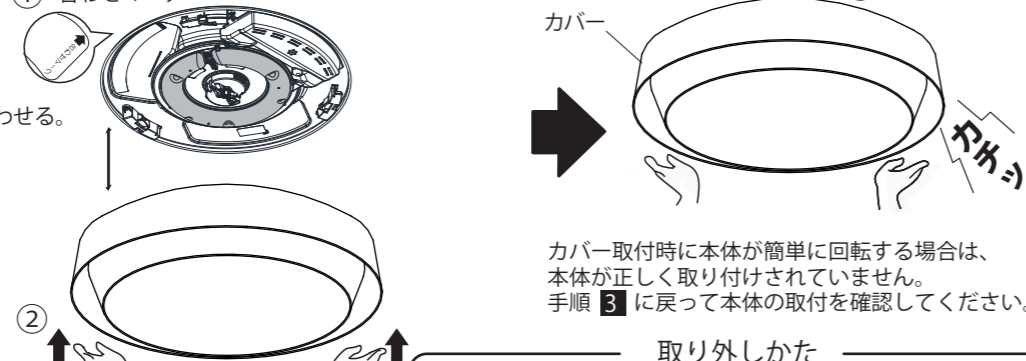
コネクタ接続後は
本体を無理に回転
させないでください。
器具や配線器具の落下、
破損の原因になります。



6 カバーを取付ける。

① 合わせマーク

- ① 本体の合わせマークと
カバーの取付金具の位置を合わせる。
- ② カバーを持ち上げる。
- ③ カチッと音がするまで
カバーを右に回す。



確認

カバーが確実に取付けされて
いることを確認してください。

取り外しかた

- ① カバーを左に回す。
- ② カバーを外す。

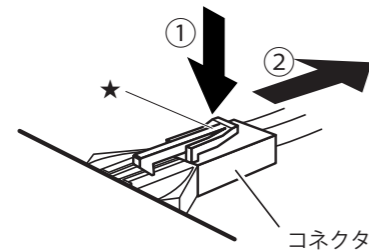
【照明器具を取り外す】



(一部姿図を省略しております。)

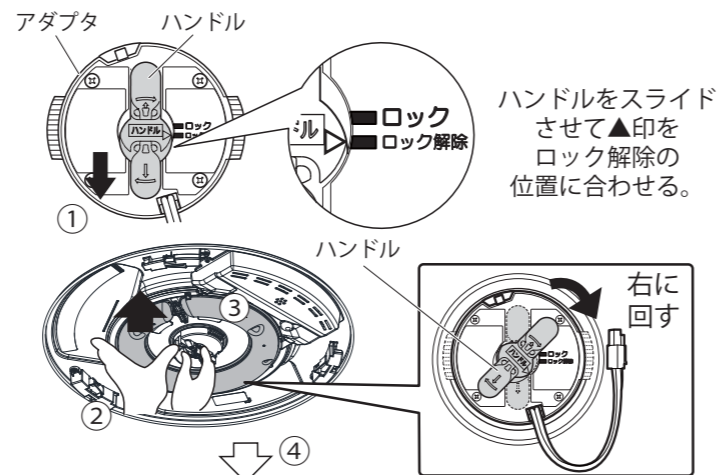
1 コネクタを外す。

- ① コネクタの★の部分
を押さえながら
- ② 引き抜く。



2 本体を取り外す。

- ① アダプタのロックを解除する。
- ② 本体が落ちないように
しっかりと支えながら
- ③ ハンドルを右に回す。
- ④ 本体をゆっくりと下げて取り外す。



3 アダプタを外す。

- ① ボタンを押しながら
- ② 左に回して外す。



警告

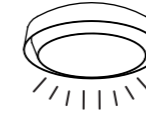
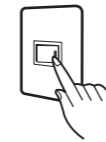
本体が落ちないようにしっかりと支える。
落下してけがのおそれがあります。

【あかりをつける・消す】

壁スイッチで照明器具を操作する

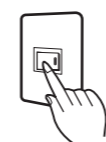
点灯・消灯する

「入」



前回の状態
で点灯します。

「切」

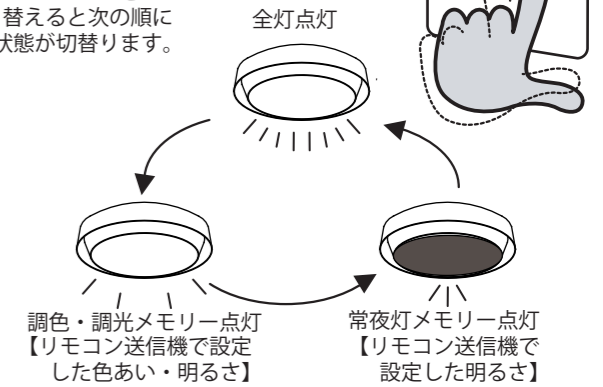


現在の状態を
記憶して
消灯します。

●ただし、リモコンで「明るさと色あい」を調節した
状態で消灯した場合、現在の状態は記憶しません。
そのため、次にONしたときは、最後にメモリー
設定操作をした「明るさと色あい」で点灯します。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く
(約3秒以内に)
OFF⇄ONと
切り替えると次の順に
点灯状態が切り替ります。



●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。
点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

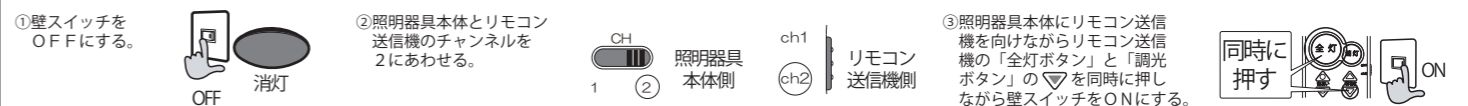
【故障かな?と思ったら】

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	参照ページ
点灯しない。	壁スイッチがOFFになっている。	➡ 壁スイッチをONにしてください。 ⇒5ページ...
	器具のコネクタが確実に差し込まれていない	➡ 器具のコネクタを確実に接続してください。 ⇒4ページ...
リモコンで操作できない。	リモコンと器具のチャンネルが合っていない。	➡ リモコンと器具のチャンネルを合わせてください。 ⇒7ページ...
	リモコンの電池が正しく入っていない。	➡ リモコンの電池を正しく入れてください。 ⇒6ページ...
	リモコンの電池が消耗している。	➡ リモコンの電池を交換してください。 ⇒6ページ...
勝手に消灯する。	offタイマー30分/60分がセットされている。	➡ offタイマー30分/60分を解除してください。 ⇒6ページ...
勝手に点灯する。	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある。	➡ 壁スイッチをOFFにしてください。 ⇒5ページ... ➡ リモコンまたは壁スイッチ操作で点灯モードを切り替えてください。 ⇒5ページ~6ページ...

点灯状態が勝手に切り替わる現象が発生した場合(デモモード)の対処方法

※点灯状態が勝手に切り替わる現象が発生した場合は次の手順で操作をおこなってデモモードを解除してからご使用ください。



上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。